

元気いっぱい！ 夢いっぱい！



菊池っ子だより

Vol.25

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎ 0968(25)7231

6月29日 分 かりやすい授業を目指して

菊池北中学校



班ごとに分かれて実験

菊池北小学校と菊池北中学校合同の授業研究会を実施しました。この合同授業研究会は昨年度から始まり、今回2回目。昨年度は英語科の授業、本年度は理科の授業を行いました。授業後の研究会では、小学校の先生と授業内容などについて意見交換を行いました。

7月13～15日 働くことの大切さを学びました

七城中学校



リバーサイドパーク家族湯



セブンイレブン七城甲佐町店



双葉幼稚園



よしのや菓舗

将来の仕事について考えることや地域で働く人との交流を通して郷土理解を深めることなどを目的に、2年生37人が市内20の事業所で職場体験学習を行いました。参加した生徒は「職場体験で学んだことをこれからの進路選択などに生かしていきたい。貴重な体験ができた」と話しました。

6月23日 おいしいお米を作ります！

菊之池小学校



横一列に並び手際よく植えました

菊池地区広域協定運営委員会（水土里ネット）主催の田植え体験があり、5年生23人が参加しました。水着に着替えた児童たちは全身泥だらけになりながら田植えを楽しみました。参加した児童は「みんなで楽しく田植えができた。秋の収穫が楽しみ」と笑顔を見せました。

6月17日 いつもきれいな歯を目指そう！

戸崎小学校



正しい歯の磨き方を学びます



磨き残しがないかチェック

全学年で歯科健康教室を実施しました。4人の歯科衛生士と保護者を招き、各学年ごとに歯の健康講話や歯磨きチェックなどを行いました。歯肉炎について学習した6年生は「1グラムの歯垢に1兆個の細菌がいる。夜は細菌が5倍に増えるので、丁寧に磨きたい」と話しました。

6月13日 災害から身を守るために

泗水東小学校



体育館に集合して集団下校しました

全校児童を対象に水防避難訓練を行いました。今回の訓練は、大雨による合志川の氾濫を想定して実施。児童は5時間目終了後に体育館に集合し、地区ごとに集団下校しました。いつ起こるか分からない災害に備える訓練となりました。

わがまちの

地域おこし協力隊

Vol.08

を紹介します！

集落文化創造プランナー



とみた みつる
富田 満さん

出身：福岡県北九州市
趣味：登山・サイクリング・釣り
特技：インテリアコーディネート
旅行プラン・水彩画
座右の銘：Study to be quiet
(静かなることに学べ)

菊池市地域おこし協力隊に新たに5人のメンバーが加わりました。都市部から菊池市に移住してきた彼らは、「文化」「健康」「観光」「ブランド」「魅力発信」の5つの分野で地域おこしに取り組んでいます。任期は最長で3年間。活動終了後も本市に定住してもらう予定です。なぜ都会から菊池市に移住してきたのか。ここでどんな取り組みをしていくのか。地域おこし協力隊の人物像や活動内容をシリーズでお届けします。

問い合わせ先 企画振興課 ☎ 0968(25)7250

なぜ菊池市の協力隊に？
学生時代山岳部の活動や観光で、菊池温泉や菊池溪谷には何度か来たことがありました。豊かな自然がとても印象に残っていて、地域おこし協力隊に参加したいと考えていました。募集を見て、自分のキャリアを生かせるチャンスが来たと感じ応募しました。

どんな活動を行っていますか？
秋には、閉校になった小学校を活用したアートフェスタや、フットパス・トレッキングコース・カヌー下りのコース開拓などのイベントを開催したいと考えています。

菊池市の印象はいかがですか？
豊かな水源・森や田畑・伝統文化など、本来、人に一番大切な価値が菊池にはあり、人と自然が共生しています。社会人になって、日々こんなに安らげる気持ちになったことはありませんでした。今は毎日が幸せな気分です。今は毎日幸せな気分です。

3年後、菊池市をどんなまちにしたいですか？
街の中を走る井手を2層にし、下は井手、上はビオトープにすることで水生昆虫や小魚が息づく街にしたり、商店などの看板やディスプレイを変えたりすることで昭和ノスタルジーをコンセプトにした街づくりをしたいと思っています。

ありがとうございます。
次回は、地域健康プランナーの加藤丈雄さんをご紹介します。

シリーズ 文教の偉人 ⑥
渋江龍淵 (1778～1854)
渋江龍淵は松石の長子で、名を公隆といいました。文章の才能に恵まれた龍淵は幼い頃から勉学に専念し、若くして天草や島原を数年間漫遊しながら、各地で多くの弟子の教育に当たったといわれています。

1815(文化12)年、37歳のときに限府に帰ってきて、私塾「銀月亭」を開きました。菊池以外にも益城や玉名、宇土などから多くの門下生に経書や書道を教え、この評判から藩に「菊池郡文芸指南役」を任じられています。銀月亭の評判はますます高まり、多くの門下生が日夜龍淵の下に通いつめ、勉学に励みました。このような龍淵の地方教育の功勞に対して、1822(文化5)年、藩は報奨金を与えました。この年、晩婚だった龍淵は待望の長子、周蔵も授かっています。龍淵45歳の年でした。

この後も龍淵は、藩の「竹迫会所」に通動して武士階級の子弟の学問指導を行うなど、その名声を高めていきました。ところが、1829(文政12)年、そんな龍淵を悲劇が襲います。愛児、周蔵が7歳の若さで亡くなるのです。その悲しみを振り払うかのように、龍淵はますます教導に力を入れ、翌年にもまた、藩から褒賞を受けています。

龍淵と深い交流のあった人に、木下



山口泰平著「渋江氏伝家の文教」

韓村がいます。門外生として龍淵の指導を受けた韓村は、27歳も年下ながら、龍淵が亡くなった際、その碑文を記すのに最も適した人、といわれるほどの交流があったようです。その韓村の言葉借りると、龍淵はさっぱりとして物事に拘らず、どこか達観したような人となりだったようです。

そんな龍淵が晩年病に倒れ、死を目にしたとき、一つの遺言を残しています。「私が死んだら大きな棺を作り、周蔵の遺骨と一緒に埋葬してほしい」享年75歳。周蔵の死から30年間、心中にしのばせていた思いが推し量られるようです。遺言通り、龍淵は周蔵と共に合葬され、輪足山の渋江家墓地に眠っています。